

ユネスコエコパークへの道

平成27年8月31日に、日本ユネスコ国内委員会会長あて、ユネスコエコパークの登録に向けた意思表示、並びに概要申請書の提出を行ったところ、平成27年11月19日付けにて「平成28年のユネスコへの申請に向けて準備を進めるべきである。」との審査結果の通知がありました。現在は、STEP3の本申請書（案）の作成に取り組んでいます。

■平成27年

8月31日	日本ユネスコ国内委員会会長あてユネスコエコパークの登録へ向けた意思表示及び概要申請を提出。	STEP1 Cleared!
11月19日	日本ユネスコ国内委員会より「平成28年のユネスコへの申請に向けて準備を進めるべきである。」との審査結果の通知。	STEP2 Cleared!

■平成28年

2月末	本申請（案）を日本ユネスコ国内委員会事務局へ提出 － 日本ユネスコ国内委員会MAB計画分科会や関係省庁等との協議 －	STEP3
6月中旬	本申請書を日本ユネスコ国内委員会事務局へ提出 － 調整、英文作成等 －	STEP4
7月末	本申請書を日本ユネスコ国内委員会会長あて提出	STEP5
8月下旬	日本ユネスコ国内委員会MAB計画分科会において国内審査・推薦の可否の決定 － 必要に応じて最終調整 －	STEP6
9月末	日本ユネスコ国内委員会がユネスコへ推薦	STEP7

■平成29年

3月～5月頃	ユネスコBR国際諮問委員会による審査	STEP8
5月～7月頃	ユネスコMAB計画国際調整理事会における審議・決定 登録!	

お知らせ

みなかみユネスコエコパーク プレイメント 「みなかみの自然と暮らし」を考えてみよう!

みなかみの自然や暮らしのことが1冊にまとまった本、その名も「みなかみの自然と暮らし」がまもなく完成します。この「みなかみの自然と暮らし」の完成を機会に、みなかみユネスコエコパークのプレイメントを開催します。ぜひご参加ください。

日時 平成28年3月19日（土）13:30～ 場所 みなかみ町カルチャーセンター

- 内容
- 「みなかみの自然と暮らし」完成発表会
 - みなかみユネスコエコパークの概要説明
 - 町内小学生による環境学習発表会
 - 木のおもちゃを使った体験プログラム
(カスターネットづくり、ロケットリーフ遊びなど、小さなお子さんでも楽しんでいただけます。)



【第2回 平成28年1月15日発行】

■発行・お問い合わせ先
 みなかみ町 まちづくり交流課 エコパーク推進室
 〒379-1313 群馬県利根郡みなかみ町月夜野1744-1 みなかみ町観光センター2F（上越新幹線上毛高原駅前）
 TEL 0278-25-5029（直通） FAX 0278-62-3211

みなかみ

さあ世界へ!

ユネスコエコパーク

Minakami Biosphere Reserve

2



みなかみ町のユネスコエコパーク登録に向けた取組などをシリーズでお伝えします。

Minakami
Biosphere Reserve

みなかみ
ユネスコエコパーク

2017

みなかみ
ユネスコエコパーク

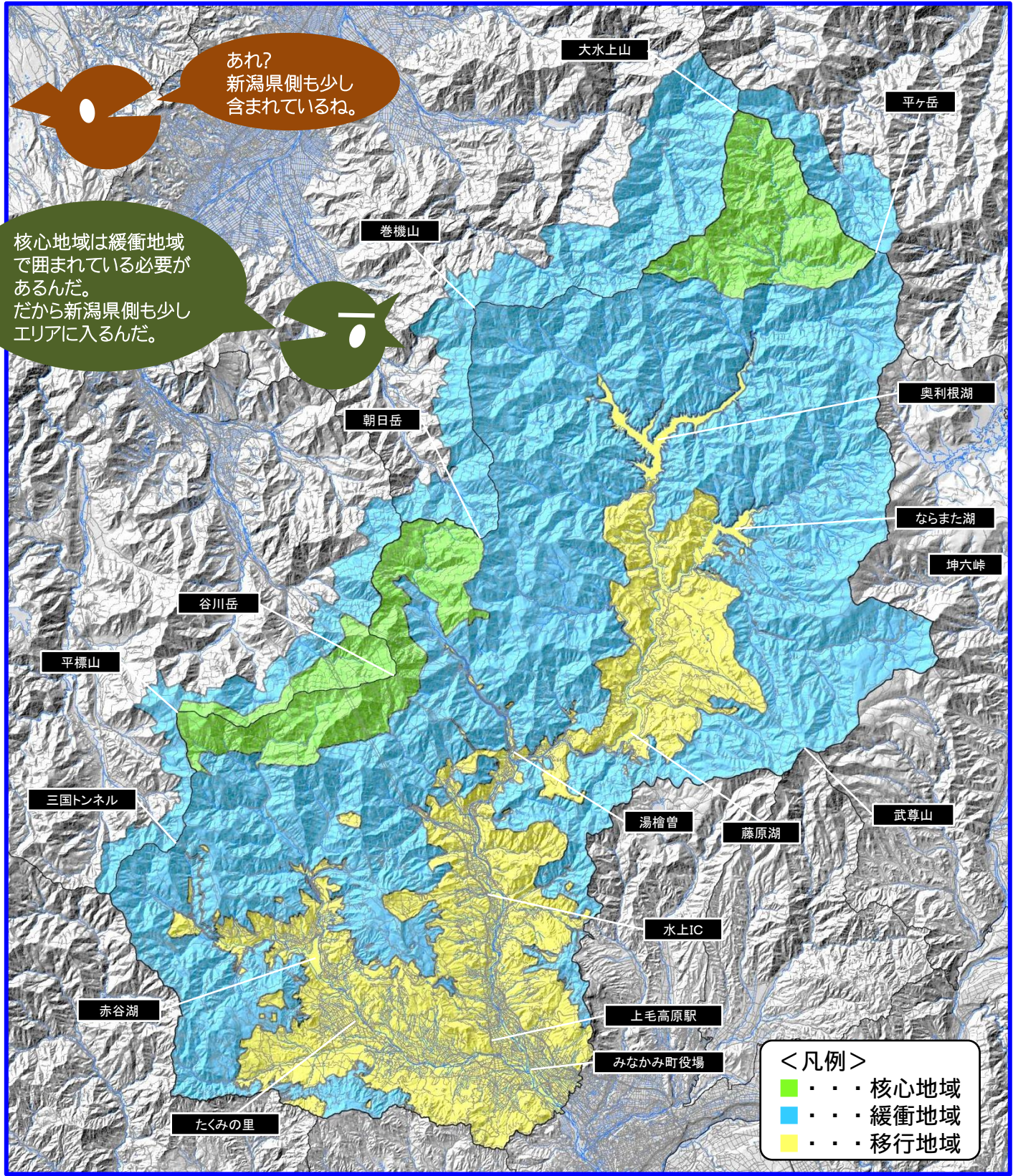
Minakami, planning area for Biosphere Reserve of
UNESCO's Man and the Biosphere Programme.

検討地

みなかみユネスコエコパークの推進エリア

みなかみ町のユネスコエコパークは、みなかみの自然を未来へつなげ、自然との共生がずっと続くように、より住みよい町になるように、そしてみなかみのすばらしさを世界に発信し、より多くの人々にみなかみを知ってもらい訪れてもらえるようにすることが目的です。これらの具現化を図る手段の一つとして、ユネスコエコパークの理念に基づき、3つの土地利用区分を設定し取組を進めます。

■ みなかみユネスコエコパーク推進エリア図



■ 3つの土地利用区分

核心地域
Core area **基本理念** 生態系や生物多様性保全上重要な地域であり、手つかずの自然等を厳重に保護する地域

みなかみユネスコエコパーク

「手つかずの原生的な自然環境が利根川の最初の一滴を生みだすエリア」
 ・利根川源流部・燧ヶ岳周辺森林生態系保護地域【保存地区】 ・利根川源流部自然環境保全地域
 ・上信越高原国立公園特別保護地区及び第1種特別地域

緩衝地域
Buffer zone **基本理念** 核心地域に隣接し、核心地域に影響を及ぼさないように教育・研修、エコツーリズムなど保全と活用を推進していく地域

みなかみユネスコエコパーク

「水源涵養機能をはじめ森林の多様な機能を高めるための保全管理を行い環境教育・調査研究・エコツーリズム等が行われるエリア」
 ・みなかみ町域の国有林の全域(核心地域及び野外スポーツ地域以外) ・群馬県自然環境保全地域の宝川地区
 ・越後三山只見国定公園の第1種特別地域及び特別保護地区の一部(魚沼市)
 ・利根川源流・燧ヶ岳周辺森林生態系保護地域【保全利用地区】の新潟県域(南魚沼市)
 ・緑の回廊三国線、及び上信越高原国立公園特別地域の一部(南魚沼市、湯沢町)

移行地域
Transition area **基本理念** 緩衝地域を支援する機能を有し、私たちが暮らし、経済活動が行われ、自然環境の保全と調和した持続可能な地域

みなかみユネスコエコパーク

「日々の暮らしと経済活動を行う中で豊かな森と水の持続的な利用を積極的に行うエリア」
 ・核心地域、緩衝地域以外のみなかみ町域の全域

どんな風にしてユネスコエコパークのことを検討しているの？

<検討委員会のメンバー(※敬称略)> 平成27年4月1日現在

No.	所属	氏名	備考
1	横浜国立大学准教授	酒井 暁子	日本MAB計画委員会副委員長
2	群馬県立女子大学名誉教授	斎藤 晋	谷川岳エコツーリズム推進協議会顧問
3	東京農工大学教授	土屋 俊幸	赤谷プロジェクト地域づくりWG
4	群馬県利根沼田環境森林事務所長	桑原 雅美	
5	みなかみ町商工会 事務局長	山田 篤	
6	みなかみ町観光協会 事務局長	山賀 晃男	
7	利根沼田森林組合 専務理事	鈴木 敏雄	
8	谷川岳エコツーリズム推進協議会副会長	阿部 利夫	
9	赤谷プロジェクト地域協議会 会長	林 泉	
10	「奥利根水源憲章」推進委員会 委員長	林 親男	
11	みなかみ町区長会 会長	加部 晃	
12	みなかみ町婦人会 会長	竹内八重子	
13	月夜野地区まちづくり協議会 会長	真庭 正枝	
14	水上地区まちづくり協議会 会長	福井 誠	
15	新治地区まちづくり協議会 会長	利根川 太郎	
16	みなかみ町議会 代表	小林 洋	
17	みなかみ町教育長	増田 郁夫	
18	みなかみ町副町長	鬼頭 春二	
19	関東森林管理局 利根沼田森林管理署 森林技術指導官	伊與部 智行	オブザーバー
20	関東森林管理局 赤谷森林ふれあい推進センター 所長	藤澤 将志	オブザーバー
21	環境省長野自然環境事務所 谷川自然保護官事務所 自然保護官	木村 元	オブザーバー
22	環境省関東地方環境事務所 片品自然保護官事務所 自然保護官	牧野 友香	オブザーバー
23	国土交通省関東地方整備局 利根川ダム統合管理事務所 副所長	太田 久	オブザーバー
24	水資源機構沼田総合管理所 副所長	山口 隆幸	オブザーバー
25	まちづくり交流課 課長(エコパーク推進室長)	宮崎 育雄	事務局長
26	まちづくり交流課 エコパーク推進室	小池 俊弘	事務局
27	まちづくり交流課 エコパーク推進室	小野 宏和	事務局
28	(財)日本自然保護協会	朱宮 丈晴	事務局アドバイザー(日本MAB計画委員会委員)
29	(財)日本自然保護協会	出島 誠一	事務局アドバイザー(赤谷プロジェクト総窓口)

平成26年7月に役場のまちづくり交流課内に「エコパーク推進室」が設置され、登録及び推進に向けた業務が本格的に始まりました。また同年10月には「みなかみユネスコエコパーク検討委員会」が、みなかみの自然や暮らしに詳しい大学の先生、町民のみなさん、そして関係行政庁のみなさんにより組織され、月に1回程度の会議を経て、町の自然や歴史文化などについて整理や、申請書の作成などをしてきました。

平成28年2月の本申請素案の提出をもって検討委員会は一旦解散しますが、検討委員さんには引き続きみなかみユネスコエコパークについて助言をいただいたり、主体的に取組を進めていくなど、御協力をいただきながらより機動的にユネスコエコパークの推進を図っていく予定です。